



図書館

ニュース

目次

開館時間変更のお知らせ……………	215	研究個室ご利用の手引き……………	225
<特集> 図書館利用の手引き……………	217	学外文献複写申込の手引き……………	226
附属図書館入退館の手引き……………	218	図書館システム“PIRKA” Ovid社発行誌で	
貸出・返却ご利用の手引き……………	220	世界に紹介される!!……………	228
文献検索・学内所蔵検索の手引き……………	221	図書館日誌……………	229
AVルームご利用の手引き……………	222	札幌医学雑誌の投稿受付……………	230
セミナー室ご利用の手引き……………	224	付：附属図書館システム利用者用パスワード	
		申請書……………	

開館時間変更のお知らせ

夏季休業のため開館時間が変更となりますのでお知らせします。

	期 間	開館時間	特別開館時間
平日	7月 1日(木) ~ 7月16日(金)	午前9時 ~ 午後8時	午後8時15分 ~ 翌日の午前0時
	7月19日(月) ~ 7月30日(金)	午前9時 ~ 午後5時	午後5時15分 ~ 翌日の午前0時
	8月 2日(月) ~ 8月31日(火)		
	9月 1日(水) ~ 9月 3日(金)		
土日	7月 1日(月) ~ 9月 5日(日)		午前9時 ~ 翌日の午前0時

祝日は従来どおり休館となっております。

図書館内線番号が変更になって
います。カウンター (内線 2425,2426)

本誌では、外国雑誌に投稿された先生方の論文を紹介いたしております。ご希望の方は随時本誌編集担当の主査(2422)まで共著者名、論文名、雑誌名、巻・号・年月をお知らせ下さい。

編集・発行 札幌医科大学附属図書館

(〒060-8556) 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL (011)611-2111(内2422)
FAX (011)641-9646

附属図書館ホームページ

URL <http://www.sapmed.ac.jp/libr/>

<特集> 図書館利用の手引き

新図書館の施設の概要については、「図書館ニュース」第12巻6号(1999年6月)及び図書館ホームページ(URL <http://www.sapmed.ac.jp/libr>)でもお知らせしておりますが、今回は各施設等の利用手続について特集で紹介させていただきます。

なお、図書館利用にあたりましては次の点にご注意願います。

(1) 利用上のマナーについて

館内は飲食禁止及び禁煙になっております。

図書館は公共の場です。他の利用者の迷惑にならないようお静かに願います。また、携帯電話については、1階ロビーでお願いします。

(2) 学外文献複写申込用パスワード申請書について

学外文献複写申込みが7月からIDとパスワードが必要になります。詳細は本号に掲載の「学外文献複写申込の手引き」をご覧ください。

「附属図書館システム利用者パスワード申請書」に所要事項記載及び捺印のうえ図書館カウンターまで提出をお願いいたします。申請書は「図書館ニュース」今月号の巻末にあります。

E-mailをお持ちでない方は、附属情報センター(基礎医学研究棟5階)情報管理係(内線2239)からのアカウントを受けた後に、附属図書館に申請書を提出してください。

(3) 特別開館時間について

特別開館時間においては、図書館職員が在中しておりませんので機器等の障害が発生した場合は、次のように対応して下さるようお願いいたします。

特別開館時における機器等の障害発生等についてはお近くの内線電話を使用し、警備室(内線2127)までご連絡ください。

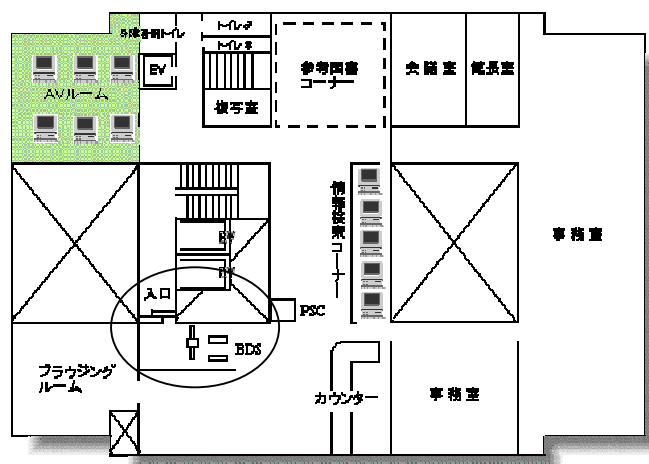
特別開館時において館内機器等に障害が発生した場合、当該障害発生機器の利用停止、または障害発生時以降の図書館ご利用を停止する場合がありますので予めご了承ください。

附属図書館入退館の手引き

入退館にあたって

図書館への入退館には ID カードが必要です。図書館へお越しの際は必ず ID カードを携帯してください。

入口および入退館ゲート案内図



通常開館時間（9:00～20:00）

（１）入館方法

入館は2階正面自動ドアより願います。自動ドア通過後、床の矢印に従い、入館ゲートにお進みください。

入館ゲートのカードリーダーにIDカードを通してください（右図参照）。

緑色で「お通りください」のサインが表示されますので、入館ゲートのバーを手で押してお進みください。



（２）退館方法

床の矢印に従い、退館ゲートにお進みください。

退館ゲートのカードリーダーにIDカードを通してください。

緑色で「お通りください」のサインが表示されますので、退館ゲートのバーを手で押してお進みください。

特別開館時間（20:15～24:00）

（１）入館方法

入館は2階正面自動ドアより願います。
自動ドア横に設置しているカードリーダーにご自分のIDカードを上から下へ向かってお通してください（右図参照）。
緑色のランプが点灯した後、暗証番号を入力してください。自動ドアが開きます。
自動ドア通過後、通常開館時同様、入館ゲートにIDカードを通してください。



緑色で「お通りください」のサインが表示されますので、入館ゲートのバーを手で押してお進みください。

（２）退館方法

退館ゲートのカードリーダーにIDカードを通してください。

床の矢印に従い、退館ゲートにお進みください。

緑色で「お通りください」のサインが表示されますので、退館ゲートのバーを手で押してお進みください。

自動ドア手前壁面に設置しているカードリーダーにIDカードを通してください。

自動ドアが開きますのでそのままお進みください。

その他

退館時に貸出 процедуруを行っていない資料を持っていた場合、警告音を発し、ゲートが開放されませんのでご注意ください。

特別開館時における機器等の障害発生等についてはお近くの内線電話を使用し、警備室（内線 2127）までご連絡ください。

特別開館時において館内機器等に障害が発生した場合、当該障害発生機器の利用停止、または障害発生時以降の図書館ご利用を停止する場合がありますので予めご了承ください。

貸出・返却ご利用の手引き

貸出条件

身分	図 書		製本雑誌	
	冊数	期間	冊数	期間
教 職 員	無制限	7日	無制限	3日
大学院学生	無制限	7日	無制限	3日
学部学生	3冊	7日	3冊	3日
研 究 生	無制限	7日	無制限	3日
研 修 医	無制限	7日	無制限	3日

- * 未製本雑誌は館内閲覧及びコピーでご利用下さい。
- * 視聴覚資料は館内貸出手続きをとって、館内をご利用ください。

貸出手続

貸出手続にはカウンター職員により貸出処理を行う方法とPSC（Patron Self Check: 自動貸出システム）を使い、利用者自身で貸出処理を行う方法の2通りがあります。

カウンター職員による貸出処理

IDカードが未発行となっている方、またPSCの操作方法がよく分からない方は貸出希望資料とIDカードをカウンター職員に渡してください。



PSCによる貸出処理

操作はディスプレイの表示に従い、行うことができます。

PSCのカードリーダーにIDカードを通してください。

ディスプレイにご自身の氏名等が表示されますのでご確認ください。

貸出希望資料をPSCの右側に乗せてから、左に移動してください。

ディスプレイに資料名が表示されますのでご確認ください。

貸出手続の終了は"# "を押してください。

プリンタからレシートが印刷されますので、切り取り後、控えとしてお持ちください。

資料の返却

開館中につきましては2階カウンターにご返却ください。

閉館中につきましては2階入口前のブックポストに投函ください。

文献検索・学内所蔵検索の手引き

情報検索コーナー

学内全蔵書の検索および MEDLINE などの医学文献の検索は館内各階に設置されている情報検索コーナーの端末をご利用ください。

附属図書館システム PIRKA はインターネット経由で自宅から利用することもできます。

利用上のお願い

情報検索コーナー設置端末は医学情報検索、学内資料検索のための利用が優先です。混雑時におけるネットサーフィンおよびレポート作成等については控えてください。

職員在勤時の端末の電源切断は故障の原因となりますので行わないようにしてください。

職員在勤時に機器の動作不良、障害が生じた場合は速やかにカウンター職員に連絡してください。利用者本人による障害等の対応は行わないよう願います。

特別開館時に機器の動作不良、障害が生じた場合はご利用の端末をそのままにしてください。

個人利用を目的とした設定等の変更は他の利用者に迷惑となるばかりか、故障の原因となりますので決して行わないようにしてください。

特別開館時は職員不在のため利用端末台数を制限しています（電源がオフとなっています）。

利用できる端末がなく、利用者ご自身が電源を投入された場合は以下の手順で電源を切断してください。

Windows 端末： a) 「スタート」メニューから「シャットダウン」を選択後、表示されるダイアログで「シャットダウン」を選択する。

b) ディスプレイ、プリンタの電源を切断してください。

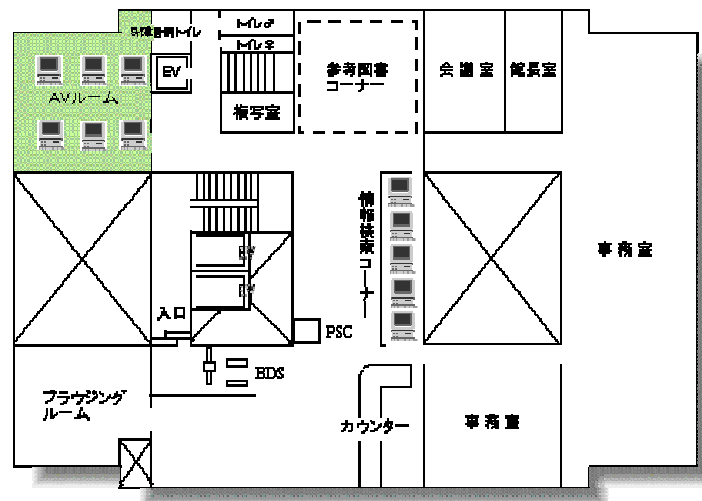
Macintosh 端末： a) 24 時に自動的に電源が切断されます。プリンタの電源のみ切断してください。

AVルームご利用の手引き

附属図書館2階に12台のパソコン、ビデオデッキ、各種スキャナなどを設置したAVルームをご用意しています。レポートの作成、研究発表のプレゼンテーション資料作成などにご活用ください。

なお、利用方法および設置機器の詳細につきましては次のとおりです。

案内図



利用時間

午前9時より午後8時まで

通常開館時間内の利用に限ります。特別開館時は使用できません。

利用方法

利用をご希望の方は2階カウンターにお申し出ください。

ビデオ等の映像資料利用にあたりましてはヘッドホンををご用意していますのでお申し出ください。

市販のビデオやCD-ROMからの画像データを加工し、第三者に公開することは著作権法上、違法ですのでご注意ください。

パソコン内へのプログラムのインストールおよびメールの設定は行わないでください。

機器の動作不良、障害が生じた場合は速やかにカウンター職員に連絡してください。利用者本人による障害等の対応は行わないよう願います。

図書館内は全館禁煙、飲食禁止となっていますのでご注意願います。

AVルーム内は閲覧室同様、静粛に願います。他の利用者の迷惑になるような行為はお控えください。

設置機器

OS 種別			Windows98								MacOS 8.5			
機種名			Sony VAIO PCV-L700 (Pentium III 500MHz RAM 128MB)								PowerMacintosh G3 M6665J/A(PowerPC G3 400MHz RAM 128MB)			
端末番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
周辺機器	ビデオ	S-VHS							-	-			-	-
		DV+VHS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		8mm+VHS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	フィルムスキャナ		-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
	フラットスキャナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	フィルムレコーダ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	プリンタ	モノクロ	計4台(共有)								計2台(共有)			
		カラー	計1台(共有)											
	デジタルカメラ		ご利用を希望される方はカウンターまでお申し出ください。											
	デジタルハンディカム													

利用可能ソフトウェア

AV ルーム内設置のビデオおよびソフトウェアのタイトルはOPAC で調べることができます。OPAC は附属図書館ホームページよりアクセスすることができます。ご利用希望の方はカウンターまでお申し出ください。

URL: <http://163.130.200.1/libr>

各パソコンはそのままビデオキャプチャーを行うことができます。取り込んだ画像等を保存するメディア (FD、MO およびビデオテープなど) については各自でご用意ください。

フィルムレコーダ用ソフトウェアは Power Point をご用意しています。作成したファイルを保存するメディア (FD、MO) およびスライド作成用フィルムについては各自でご用意ください。

その他

ご不明な点につきましては AV ルーム内設置の内線電話をご利用の上、カウンター (内線 2425、2426) までご連絡ください。

セミナー室ご利用の手引き

附属図書館 4 階にゼミやグループ学習を目的とした部屋を 2 室用意しています。マルチメディアボードを設置し、コンピューターを使ったグループ学習も可能です。

なお、利用方法および設置機器の詳細につきましては次のとおりです。

利用時間

午前 9 時より午後 8 時まで

通常開館時間内の利用に限ります。特別開館時は使用できません。

利用単位

2 時間単位とし、予約がなければ 1 時間単位で延長できます。

利用方法

予約となっておりますので、利用をご希望の方は 2 階カウンターにお申し出ください。

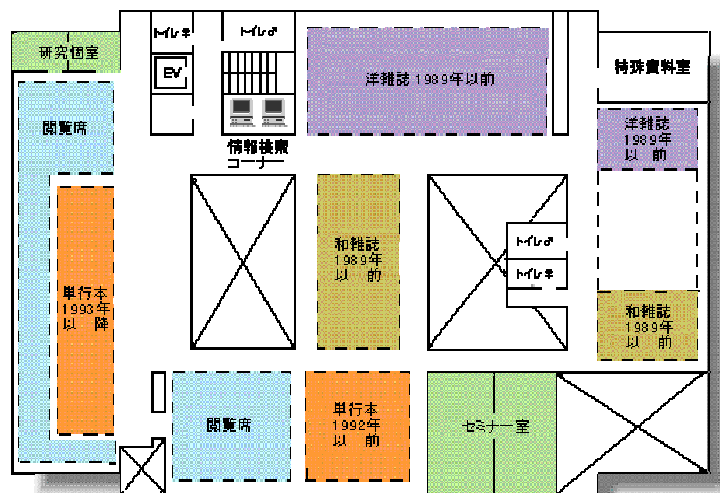
機器の動作不良、障害が生じた場合は速やかにカウンター職員に連絡してください。利用者本人による障害等の対応は行わないよう願います。

図書館内は全館禁煙、飲食禁止となっておりますのでご注意願います。

設置機器

- ・テレビ（ビデオデッキ）
- ・マルチメディアボード
- ・データプロジェクター
- ・スライドフィルムテレビコンバータ

案内図



研究個室ご利用の手引き

附属図書館に3階、4階に研究個室を各2室用意しています。各室とも情報コンセントが敷設されています。研究のまとめや論文執筆など集中して作業を進める際にご活用ください。

なお、利用方法の詳細につきましては次のとおりです。

利用時間

午前9時より午後8時まで

通常開館時間内の利用に限ります。特別開館時は使用できません。

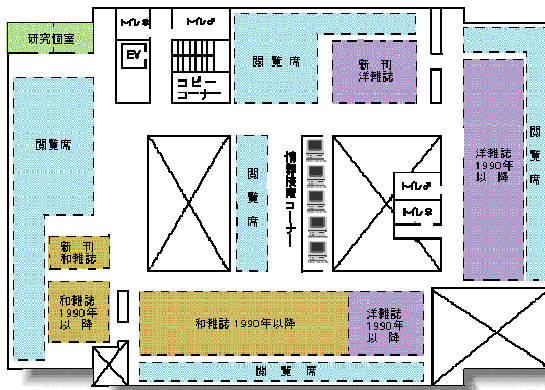
利用期間

5日以内連続してご利用できます。ただし、休館日は含みません。

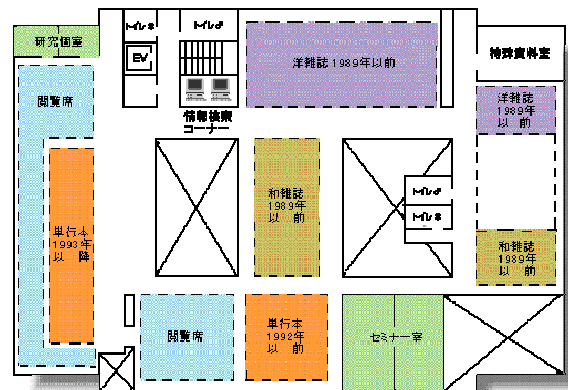
利用方法

予約制となっておりますので、利用をご希望の方は2階カウンターにお申し出ください。ご利用は個人単位を基本とします。

案内図



3階案内図



4階案内図

学外文献複写申込の手引き

学内所蔵検索の結果、本学に所蔵していない文献を他大学図書館から電子複写（コピー）、または現物貸借によって入手することができます（実費有償）。

申込方法および料金等の詳細につきましては次のとおりです。

利用対象者

本学に所属する教職員、学部学生、大学院生、研究生、聴講生、研修医

「札幌医科大学附属図書館利用規定」第4条に基づき利用が認められた学外の個人利用者。

申込方法

7月5日（月）より次のように変更になりますのでご注意ください。

MEDLINE 等の Ovid データベースの検索結果文献については同検索画面より直接学内所蔵を確認し、ID とパスワード入力のみで複写申込を行ってください。

選択した文献の論題、著者名等の書誌的事項は検索結果データを流用し、自動的に入力されます（右図参照）。

医学中央雑誌等、上記 以外の複写依頼については目録検索（Internet OPAC）で所蔵を確認の上、同検索画面より複写申込を行ってください。

本サービスご利用につきましては金銭の授受が伴うことから別途附属図書館発行のパスワードが必要です。申請がまだお済でない方は附属図書館カウンターおよび図書館ホームページ

（URL <http://www.sapmed.ac.jp/libr>）に申請書（PDF 版）をご用意していますので必要事項を記載の上、ご提出ください。申請後、翌日より利用が可能となります。

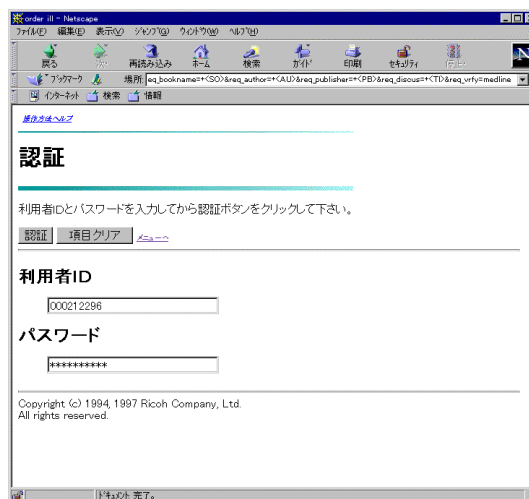


図1．学外文献複写申込認証画面

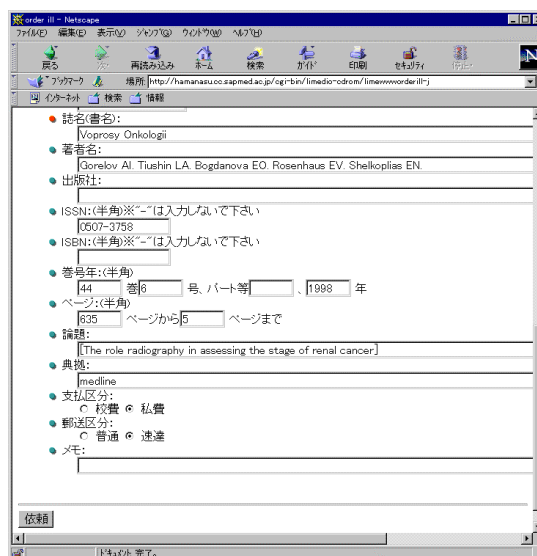


図2．依頼内容入力画面

受付時間

8時より23時50分まで。

(注) 24時以降はデータ更新等のシステム夜間処理のため申し込むことができません。
システム障害発生時については本機能による申し込みを行うことができません。
職員在勤時の申し込みとなることを予めご了承ください。

到着文献の受渡し

学外文献複写申込の文献が到着次第、附属図書館より利用者宛に電話等によりご案内いたしますので、2階複写室(弘仁会)で複写料金をお支払いの上、文献を受領してください。

なお、文献受渡しの取扱時間は午前10時より午後5時まで(正午より午後1時は窓口を休止しています)となっておりますので、時間内に受け取るようお願いいたします。

操作方法等

操作方法の詳細につきましてはすでに附属図書館より所属単位に配布しております「PIRKAによるLife Science分野のための文献検索入門」、または附属図書館ホームページの文献検索マニュアル(PDF版)をご参照ください。

利用上のお願い

本サービスによる文献複写申込は1件1葉となっております。申込後は表示中のウィンドウを放置したままにせず、必ず閉じるよう願います。

パスワードにつきましては利用者ご自身により厳重に管理願いますとともに、第三者の代行による依頼は決して行わないよう願います。

本サービスでは申し込みをされた利用者に受付確認のメールを返信します。心当りの無い依頼内容確認のメールを受け取った場合は速やかに附属図書館までご連絡ください。

依頼をキャンセルしたい場合、または誤って依頼を行った場合、依頼した当日中に附属図書館までご連絡ください。ご連絡が無く、通常どおり処理された場合の実費につきましては申込者ご本人の負担となりますのでご注意ください。

学外文献複写申込サービスは「国公立大学図書館間文献複写に関する協定」に基づき行われています。利用者個人による他大学図書館等への文献複写依頼及び直接利用はできませんので、必ず図書館を通すよう願います。また入手した複写物につきましては著作権法(調査研究目的で個人利用であること)を遵守するよう願います。

図書館システム “PIRKA” Ovid 社発行誌で世界に紹介される!!

OVID OBSERVER : News About Ovid for Our Customers and Colleagues, volume 4, Number 1/Spring 1999. “More Full Text for Australia, New Zealand, and Far East”の記事で次のように札幌医科大学附属図書館が紹介されました。

• JOURNALS@OVID BY SUBJECT • MULTIFILE AND DEDUPING • NEW NURSING RESOURCES •

THE OVID OBSERVER

News About Ovid for Our Customers and Colleagues Volume 4, Number 1 / Spring 1999

More Full Text for Australia, New Zealand, and Far East

Ovid Full Text is making waves in the Far East, Australia and New Zealand, with sales of both local and online (Journals@Ovid) full text collections to several major institutions. Additionally, in the wake of a multi-stop Far Eastern promotional tour by Ovid Clinical Information Products VP Bill Detmer, M.D. Evidence Based Medicine Reviews (EBMR) has gained a strong foothold in the region as well. Some highlights:

In Australia...

- Major hospitals and universities have added EBMR to their Ovid portfolios to take advantage of MEDLINE®/EBMR linking. These institutions include the Universities of Sydney and New South Wales, Flinders University, and Edith Cowan University.
- The University of Melbourne has joined the growing list of Australian universities accessing the full text Nursing Collection through Ovid's Sydney server, with links to and from CINAHL.

In Korea...

- Keimyung University has purchased a large local UNIX® solution with MEDLINE®, EBMR, and six Ovid Full Text Collections.
- Yonsei University has purchased MEDLINE, EBMR, CINAHL, Core Biomedical Collection, Biomedical Collections II-IV, and Nursing Collection I.
- Kosin Medical Center in Pusan has purchased a local UNIX® solution for MEDLINE® and six Ovid Full Text Collections.
- Wonkwang University has purchased MEDLINE® and subscriptions to 88 full text journal titles through Journals@Ovid.

In Japan...

- Yamaguchi University Medical Library has made a large-scale commitment to online full text via Journals@Ovid. Mr. Tetsuo Watanabe, one of Yamaguchi's key librarians, recognized the power and versatility of Ovid's integrated, aggregated solution early on.

- Sapporo Medical University Library, thanks in large part to librarian Mr. Minoru Konno (an important Ovid advocate), became Ovid's first Japanese customer to implement the Ovid Hybrid Solution. Medical professionals at Sapporo will have access to 57 online full text journal titles together with their locally-loaded bibliographic databases and EBMR—seamlessly integrated under a single interface and search session.

In Taiwan...

- The prestigious NTU Medical College has added EBMR and Biomedical Collections II-IV to their existing local system.
- National Yang Ming University, another important medical site, has added the Core Biomedical Collection and Biomedical Collections II-IV to their bibliographic Ovid local network offerings.

With these important sales, Ovid continues to expand its strong presence in the Far East.

THE OVID OBSERVER 3

札幌医学雑誌の投稿受付について

投稿に際しましては、札幌医学雑誌投稿規程を必ずお読みください。

投稿規程の他に、次のものを準備してください。

- 1 表紙に主任教授の印を受けてください。
- 2 英文抄録は事前に添削を受け、添削者のサインを受けてください。
- 3 英文抄録は、添削者のサインのあるものと、添削訂正後のものとの両方が必要です。
- 4 30 字以内のランニングタイトル（欄外見出）をご用意ください。
- 5 本文の欄外に図・表の位置を指示してください。
- 6 文献の最後に、別刷の請求先を記入してください。

なお、詳しくは主任司書（内線 2417）まで、ご連絡ください。

* 投稿に際しましては、投稿規程枚数を厳守してください。規程枚数を著しく越える論文につきましては、受け付けられない場合があります。

* 集成論文を投稿される方は、事前に主任司書（内線 2417）までご連絡ください。

附属図書館システム利用者用パスワード申請書

平成 年 月 日

札幌医科大学附属図書館長 様

貴図書館システム（Web による貸出状況照会、予約、学外文献複写申込）を利用したいので下記のとおり利用者用パスワードの交付を申請します。

記

（申請者記入欄）

利用者ID	(IDカード番号の先頭から9桁までを記入)		
フリガナ		身分 (職名)	
氏名	印		
所属		電話	内線()
メールアドレス			
利用目的	貸出状況照会・貸出中資料の予約・学外文献複写申込		

（註）全項目漏れなくご記入ください。

平成 年 月 日

（附属図書館記入欄）

許可項目	貸出状況照会・貸出中資料の予約・学外文献複写申込		
利用者ID		仮パスワード	

上記の内容で申請を許可します。なお、交付しました仮パスワードにつきましてはご自身で速やかに変更するとともに、以後の管理について厳重に行うようお願いいたします。

担当者職氏名 運用係長 曾我部 修 印（内線2421）